

# 後智仁

## NEW NUDE

作家名	後智仁
展覧会名	NEW NUDE
会期	2023年11月25日(土)～12月28日(木) オープニング：11月25日(土) 11:00～19:30   レセプション：18:00～19:30 ※終日作家在廊
会場	まえばしガレリア ギャラリー 2, 前橋



Tomohito Ushiro, *New nude 003*, 2023, acrylic on canvas, 127.0 x 93.6 cm

MAKI Galleryはこの度、まえばしガレリア ギャラリー 2にて、後智仁（うしろ ともひと）の個展「NEW NUDE」を開催いたします。

長年アートディレクターとして第一線を走り続けてきた後は、2022年12月に自身初の個展となる「Pointed」を弊社にて開催。彼のこれまでのデジタル創作から物質的な表現を持つ作品群への発展を可視化する新たな試みとなり注目を集めました。本展は後が継続的に探求し続けている写真を元に制作された平面作品シリーズ「NEW NUDE」と「Vague Portraits」より計8点、および立体作品の「Balloon」シリーズで構成されます。

平面作品のコンセプトは前回に続き「有機的な曲線上の点を減らすことによる直線化が起こす絵の崩壊とその段階」。具体的で完成されたイメージの曲線から点を減らすことで、そのイメージの持つ本来の具体的な意味や役割を曖昧にし、元とは全く違う役割を持つイメージを作るというものです。今回展示する「NEW NUDE」は、70年代のPLAYBOY、DERRIÈRE、BOTTOMなどの海外の成人向け雑誌ピンナップ写真を元に制作された裸婦画のシリーズ。「Vague Portraits」は、イギリス出身の気鋭の写真家Stephen Gill氏によるポートレート写真を元に制作されています。いずれのシリーズも後が継続的に制作しているもので、今後も探求が続けられるであろうプロジェクトでもあります。作品には後が大いに影響を受けた海外からもたらされる文化やトレンドアイコンが反映されています。ペインティングの制作過程は、まずモチーフを選び、デジタル上でそのイメージを直線化することで元の役割を限界まで排除していきます。明確なコンセプトで構成された無駄のない画面と比例して、色彩はエアブラシによる吹き付けが何層も重ねられ、深く重厚な色合いとなりシンプルな構図とのバランスを保っています。一度画面全体をマスキングでブロックして各色を仕上げたのちに、各色面に再びマスキングを施し納得する色調になるまで同系色で吹き付けていくという工程を何度も繰り返します。極限までそぎ落とされたフォルムでありながら、果てしない回数の加色は後のペインティングとしての品格を保つことに成功しています。

一方、立体作品のコンセプトは「柔らかいもの、硬いもの」とされています。風船をモチーフとしており、硬いものに柔らかいものが挟れたり、押しつぶされそうになっていて、柔らかいものがギリギリのところで耐えています。物としての強さで言えば、この状況が続けばおそらく風船は割れてしまい硬いものだけが残るでしょう。しかし、そうなるまでは、この状況を見た人にとって主役は風船であり硬い部分はそれを引き立てる補助的な要素にすぎません。強さとは何なのか。それについて考えられた作品です。真実より噂が正しいとされ、派手さが正義に結び付くような、価値が混沌とする現代で本当の“強さ”についてジレンマを抱えるアーティストの心境を可視化したのです。「そこは自分でもはっきり整理できていないのですが、僕自身がプレッシャー中毒みたいなのところがあるのではないかなあと。常にプレッシャーがかかる方に引き寄せられている気がします。そういう意味では、風船は僕自身なのかもしれませんね」と後は語ります。

後のつくり出す世界観、そしてスタイリッシュな品格を備える作品を是非会場でご高覧いただければ幸いです。



**Tomohito Ushiro**  
***New nude 001***  
2023  
Acrylic on canvas  
200.0 x 456.0 cm

**Tomohito Ushiro**  
***Balloon / Blue***  
2022  
Epoxy resin and plywood  
26.0 x 45.0 x 24.0 cm

## 後智仁（うしろともひと）



Photo: Hide Takahashi

後智仁は1971年東京生まれ。1991年に武蔵野美術大学短期大学部グラフィックデザイン科へ入学し、1993年に同大学視覚伝達デザイン学科へ編入しました。1995年に株式会社博報堂へ入社、2008年に同社を退社した後に株式会社WHITE DESIGNを設立。クリエイティブディレクター、アートディレクターとして現在も活躍しています。2011年頃より大学時代から温めていた“硬いもの、柔らかいもの”および“有機的な曲線上の点を減らすことによる直線化が起こす絵の崩壊とその段階”というコンセプトに基づいて作品制作を開始し、同年に映像作品「OOX」、立体作品「Shake Bear」を発表。2019年からヒロ杉山氏にアート活動の本格化を勧められたことをきっかけに、同氏主催のWAVE TOKYOにてインスタレーション作品「BALLOON」を、2020年には写真作品「BALLOON / PUBLIC PRESSURE」、そして2021年には立体作品「BALLOON / PINK」「BALLOON / BLUE」を発表します。HILLS ZINE MARKET 2021 ART & ZINEでは、立体作品「MATTRESS / STRIPE」「MATTRESS / FRUITS」を発表しました。2022年には自身初の個展となる「Pointed」をMAKI Gallery / 表参道, 東京で開催し、アーティストとしての益々の飛躍が期待されています。

## まえばしガレリア ギャラリー 2

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-9-1

営業時間：11:00～19:00

休廊日：月曜・火曜・祝日

MAKI Gallery

\*本企画に関するお問い合わせは下記までお願い致します。